



令和5年度（2023年）  
基礎工学国際コンソーシアム学生交流  
短期留学大学院生 募集

## 趣旨

本研究科は、日本の国立大学法人においては基礎工学（Engineering Science）に関する唯一の部局であり、旧来の縦割りの学問体系に縛られず、理学と工学との学際領域である基礎工学の基盤の開拓を精力的に押し進めてきた。目標として掲げる「複合学際領域の開拓を担う人材」及び「国際性に富む人材」の育成を実現するため、複合学際領域の開拓、すなわち Engineering Science に関わる教育研究を実施している海外機関への学生派遣を行うことにより、国際的に求められる新規の学問領域開拓に必要となる鋭敏な国際感覚を有し、世界をリードする研究者・技術者をグローバルな視点で育成することを目的とする。

本研究科は平成24年12月、同様の理念を掲げる海外の卓越した Engineering Science に関わる4大学、スウェーデン王立工科大学、カリフォルニア大学バークレー校、トロント大学、シンガポール国立大学との間で基礎工学国際部局長会議を開催し、学際教育研究に関わる「International Engineering Science Consortium（基礎工学国際コンソーシアム）」を創設した。25年度から各参画大学の学生、若手研究者の複合的な交流を進めており、平成31年度の参画大学へ短期留学する学部生・大学院生を募集する。

## 派遣先

1. シンガポール国立大学（シンガポール）\*詳しい情報入手中  
対象期間：Coursework Exchange/Semester 1 (Aug. 2023~Dec. 2023)  
ノミネート期限：2023年3月中旬  
オンライン申請期限：2023年4月10日  
\* Summer Research 開催予定なし
2. トロント大学（カナダ）\*詳しい情報入手中  
対象期間：Summer Program (August 2023 ~ September 2023 ごろ)  
研究・留学のオンライン申請期限：2023年3月末
3. スウェーデン王立工科大学（スウェーデン）\*詳しい情報入手中  
対象期間：Autumn term (August 28, 2023 ~ January 15, 2024)  
オンライン申請期限：2023年4月16日  
Spring term (January 16, 2024~June 3, 2024)  
オンライン申請期限：2023年10月15日



## 派遣の応募資格

留学に必要な実践的英語コミュニケーション能力をもち、留学によって国際性豊かな研究者としての将来が期待でき、今後上記の大学との交流活動に積極的に参加できる、令和5年度の博士後期課程及び前期課程学生。学部生で希望のある方ははやめにご相談下さい。

大学院生は、帰国後、「基礎工学海外研修1(2単位)」もしくは「基礎工学海外研修2(1単位)」を履修・単位取得すること。

## 募集要項

1. 留学期間：令和5年8月以降11月までの間の40日以上。
2. 留学経費：授業料不要。渡航費、生活費、宿泊費は自己負担。基礎工学研究科の「学生海外派遣プログラム短期留学生(大学院生)募集」又は「短期留学・海外研修生(大学院生・学部生)募集」(ともに1次締切り3月22日を予定しております)に応募することができます。その他、奨学金など希望する場合は各自で応募して下さい。応募条件等については、大阪大学のホームページ「留学助成制度」、またはKOANにて各自で確認して下さい。基礎工学研究科から別途の案内はありません。
3. 応募方法：基礎工学研究科国際化企画推進室 鈴木（メールアドレス：kokusai.es@office.osaka-u.ac.jp 内線：5689）まで、申請データをメールで送付してください。メールタイトルは「**令和5年度基礎工学国際コンソーシアム大学院生短期留学応募**」と表記のこと。申請書は所定の様式をお使いください。
4. 応募期限：**令和5年2月20日(月)**

## 留意点

1. 留学前には必ず正式な留学手続きを関係事務局にて行うこと。教授会での承認が必要となります。
2. 指導教員と相談の上、適切な海外旅行傷害保険と学生教育研究災害保険の加入を必ず行うこと。(本人実費、その写しを出国前に事務局へ提出すること。)
3. 採択後留学先の担当者にドミトリーなど紹介してもらうよう打診すること。
4. 帰国後は、報告書を作成し(書式指定)1ヶ月以内に事務局まで提出のこと。
5. 今後本研究科内で行われる基礎工学国際コンソーシアム参画大学の交流活動等にご協力いただくことがあります。
6. **新型コロナウイルス・世界情勢の影響でやむを得ず留学が中止になった場合はご連絡いたします。**

以上  
コンソーシアム担当 河原源太